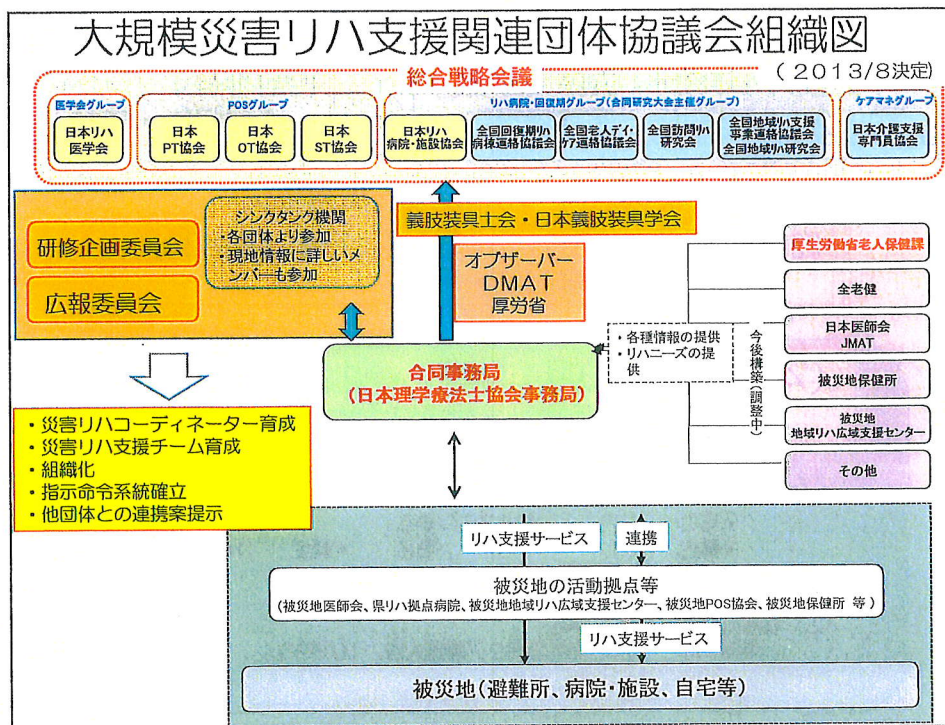


被災者健康支援連絡協議会

関東・東北豪雨災害支援報告

JRAT代表 栗原正紀
 日本リハビリテーション病院・施設協会 会長
 (長崎リハビリテーション病院 院長)

大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会
 Japan Disaster Rehabilitation Assistance Team (JRAT)



○地域JRAT 具体的活動例

関東・東北豪雨による
茨城JRAT (I・RAT)
活動(仮)報告

JRAT活動紹介

- (1) 2014年8月 広島土砂災害
- (2) 2014年9月 長野県災害



現地JRAT
情報収集・集約

- (3) 2015年5月 □永良部島火山噴火
鹿児島JRAT：災害対策本部および屋久島避難所へ
情報収集・集約

(4) 2015年9月 関東・東北豪雨災害 栃木・茨城におけるJRAT活動

1. 被害状況等(平成27年9月24日 県災害対策本部)
 - (1) 人的被害
 - ・死亡 3名 ・行方不明 0名
 - ・重症 2名 ・中等症 8名 ・軽症 16名
 - (2) 住家被害
 - ・床上浸水 4839件 ・床下浸水 7249件
 2. 避難所の開設(ピーク時)
 - 35市町村 避難所数 299 避難人数 10,390人
- ⇒ 平成27年12月8日現在
常総市 避難所数 4 避難人数 85人

平成27年9月9日関東・東北に豪雨

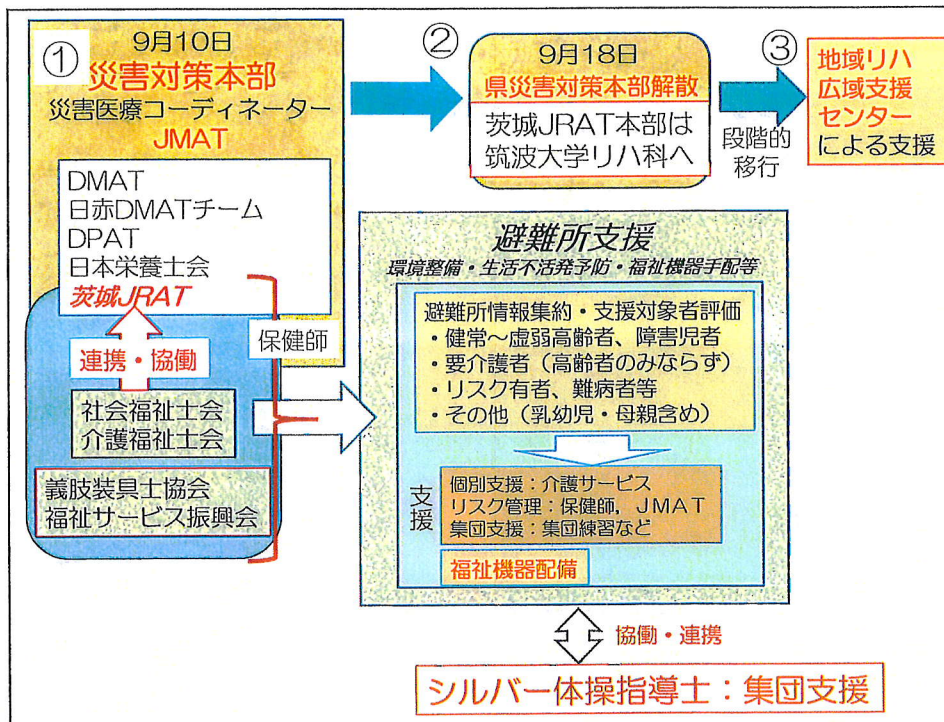
JRAT本部 クロノロジー抜粋

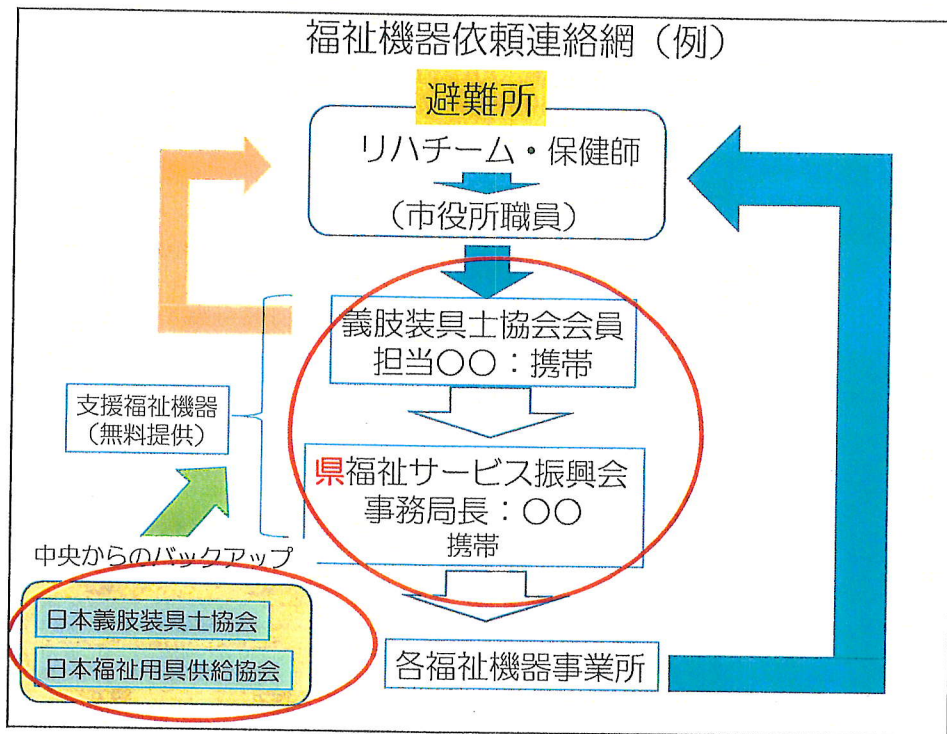
(H27.9.10)

中央本部（バーチャル）の動き

経緯を示す記録が大切

時間	発	受	内容
8:04	栗原	近藤	JRAT本部立ち上げを指示 栃木に情報集約指示
8:55	小早川		災害情報 栃木県：災害モード、県災害対策本部設置、県内DMAT待機中、避難所あり(詳細情報なし・EMIS入力なし) 茨城県：警戒モード、茨城県は8:30現在で本部設置なし、県内DMAT待機なし、避難所あり(詳細情報なし・EMIS入力なし) 傷病者情報については以下の通りです：栃木県鹿沼市1名 救出済み 土砂崩れ→搬送済み、もう1名が行方不明
9:20	里宇	大井(ML)	JRAT事務局にて情報収集を指示
10:09	小早川	本部(ML)	栃木の避難状況情報提供。避難指示・避難勧告合わせて12市町村。
10:50	里宇	大井	事務局の情報収集について具体的に指示
10:58	小早川	本部(ML)	MLの現時点でも登録メンバー確認。
11:42	近藤	大井(ML)	JRAT栃木船越医師に情報収集してもらうよう依頼する事を指示
12:21	富岡	本部(ML)	船越医師をサポートする体制を提案
12:26	小早川	本部(ML)	栃木・茨城県は災害対策本部を設置、災害コーディネーターが入庁。
14:24	小早川		正午の段階で茨城・栃木で277箇所開設、福島県では自主避難92人、14:20現在避難者数等の入力はなし
14:55	小早川		大井さんの負担が大きくなっていると指摘。浅野が本部のお手伝いへ
14:53	栗原	本部(ML)	情報共有をショートメールなどを使用すること
14:55	小早川	本部(ML)	JRAT栃木船越医師をマージンリストに登録
14:58	富岡	本部(ML)	船越医師：明日以降避難所を巡回する計画
15:02	栗原	大井	本部機能指示。厚労省へ本部立ち上げ報告を指示。
15:04	栗原	大井	近藤Drに茨城県の情報収集を指示した旨を伝える。
15:21	栗原	大井	浅野PTと連携を指示。





常総地域災害支援に関する**JRAT**(大規模災害リハビリテーション支援)活動の、今後、地域の**リハビリテーション広域支援センター**を中心とする**継続支援**

リハビリテーション広域支援センター
 茨城JRAT
 筑波大学A棟3階・特別第3会議室
 2015年9月19日

JAとりで総合医療センター
 茨城県指定リハビリテーション広域支援センター

東京医大茨城医療センター
 県立医療大学病院
 取手市医師会病院
 会田記念リハビリテーション病院
 総合守谷第一病院
 つくばセントラル病院
 牛久愛和総合病院
 牛尾病院
 龍ヶ崎済生会病院
 宮本病院

筑波メディカルセンター病院
 茨城県指定リハビリテーション広域支援センター

いちほら病院
 筑波記念病院
 筑波学園病院
 筑波双愛病院
 筑波病院

平成 27年10月9日 厚生労働省大臣官房 厚生科学課
 健康危機管理・災害対策室平成 27年 9月関東・東北豪雨
 による被害状況及び対応について(第24報から抜粋)

3 被災者の健康管理等(10/9 10:00現在)

(4) 避難者の介護予防

9月11日 避難所生活が長期化することを想定し、避難者の介護予防を支援するため、老人保健課担当者、各県担当者、**JRAT事務局の連絡体制を構築し**、必要に応じてリハ専門職を派遣する等のサポート体制を構築することとした。(16時)

9月11日 避難指示・勧告の出た茨城県、栃木県、福島県、宮城県、埼玉県における高齢者の避難状況、避難所生活の見通し等の介護予防に関する情報について県庁より収集。(18時)

9月12日 本省担当官を茨城県に派遣(12日~13日)。常総市石下総合体育館で避難状況を確認。(午後)

9月12、13日 DMATとJMATの全体会議において、関係者がJRATと連携して介護予防ニーズへの対応方針を確認。

9月13日 水海道地区(常総市役所周辺)の避難所8カ所で介護リスク等の状況を把握。(9時~17時)

9月14日 石下総合体育館に理学療法士、作業療法士が日中常駐しての介護予防チームが始動。(9時)

9月17日 現地状況把握のため常総市へ課長補佐級職員2名を派遣。

9月23日 本省担当官が再度、現地に入り避難状況を確認するとともに今後の対応方針について茨城県と協議。

9月27日 9月23日の茨城県との協議に基づき、9月27日で支援を終了。

避難所での関わりのポイント

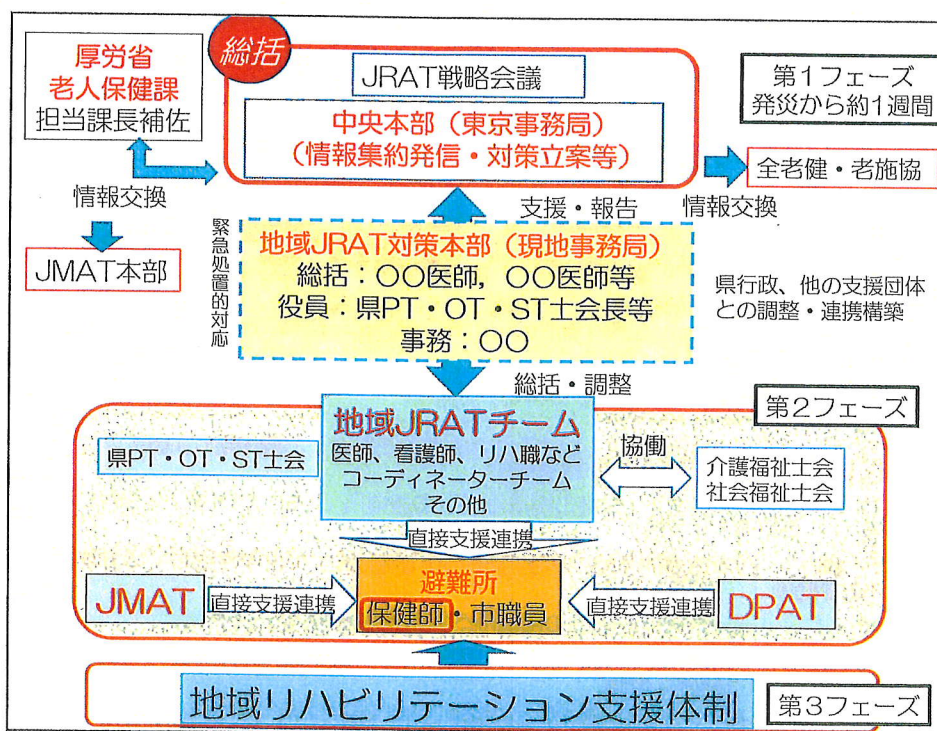
(1) 環境問題

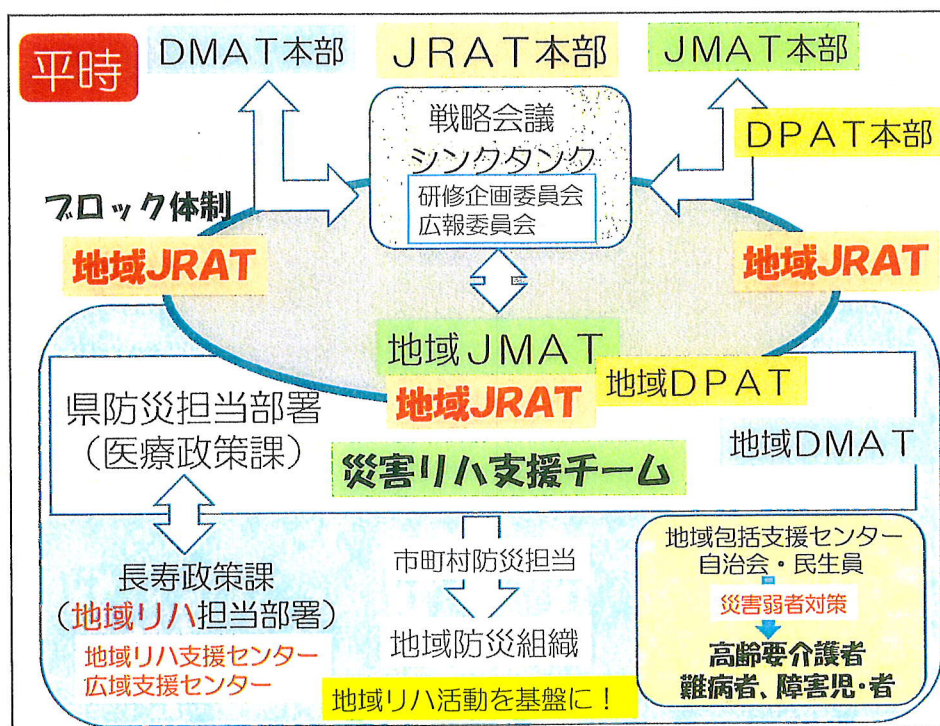
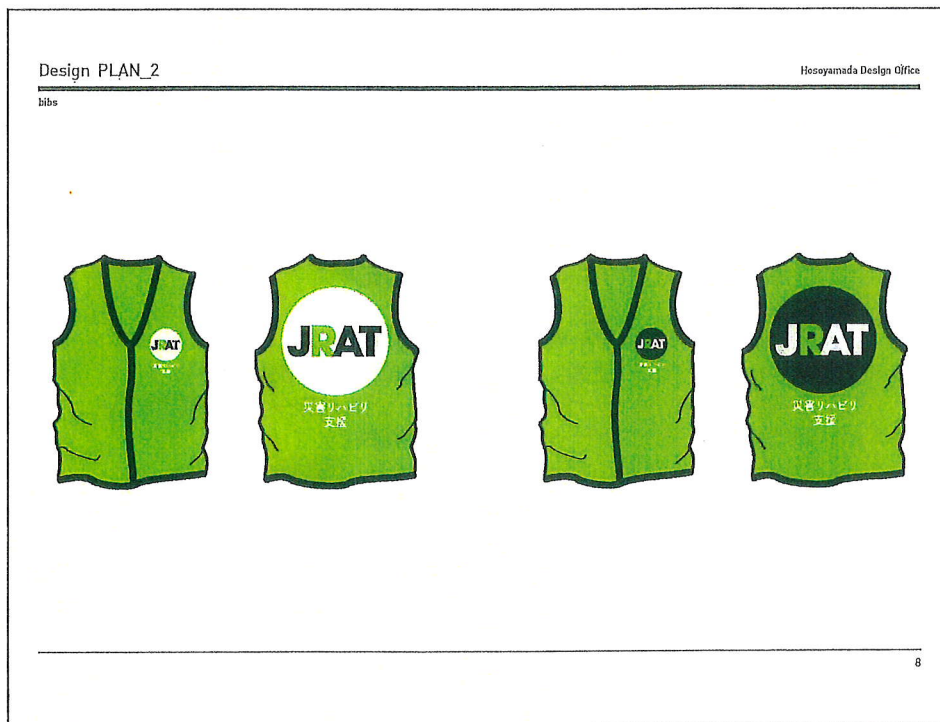
- ・トイレ問題（高齢者・要介護者その他障害者などの排泄）
 - ・プライバシー確保の問題
 - ・ベット等問題
 - ・体育館で履ける靴等
 - ・その他の福祉機器
弾性ストッキング、杖、歩行器、車いす等
 - ・その他
- インフラ・ストラクチャー：水・電気・交通 ⇒ 排水等

(2) 避難者問題

- ・要介護・要支援者の抽出と評価
⇒ 個別対応、互助・共助へ（医療・介護サービス）
福祉機器対応
- ・健常高齢者に対する予防的対応

避難所は**保健師・行政職員・他団体との協働**が重要





○組織化された都道府県の名称一覧（仮称含む）

～地域JRATの組織化～

平成27年9月現在

- ①北海道災害リハビリテーション推進協議会（Do-RAT）
- ②岩手県災害リハビリテーション推進協議会（いわてJRAT）
- ③栃木県災害リハビリテーション連絡会
- ④千葉県災害リハビリテーション支援関連団体協議会（C-RAT）
- ⑤新潟県災害リハビリテーション連絡協議会
- ⑥長野JRAT
- ⑦岐阜県災害リハビリテーション推進協議会
- ⑧三重県リハビリテーション関連団体災害対策合同委員会
- ⑨徳島県災害時リハビリテーションコーディネーター連絡協議会
- ⑩愛媛県災害リハビリテーション連絡協議会
- ⑪長崎災害リハビリテーション推進協議会（長崎JRAT）
- ⑫熊本県災害リハビリテーション推進協議会（Kumamoto JRAT）
- ⑬JRAT宮崎
- ⑭鹿児島JRAT
- ⑮兵庫県
- ⑯ I・RAT（茨木県）